

●市役所電話(代表)
☎0422-45-1151
交換手に各課の内線番号をお伝えください。
●困りごとの相談は 市民相談専用電話
☎0422-44-6600
●あなたのご意見を 市民の声専用FAX
FAX 0422-48-2810
●子どもを見守る 安全安心メールの登録
✉maam@req.jp(空メールを送信)
●いつでも無料で 防災無線の内容確認
☎0120-119-921(フリーダイヤル)

「みる・みる・三鷹」J:COMチャンネル武蔵野・三鷹(地デジ11チャンネル)
第541号(2月3日～2月16日)
市民税・都民税と所得税の申告が始まります／
星と森と絵本の家 新年鏡開き
放送時間／月～日曜日 9:00 12:30 20:00 23:30
※同番組は無料動画共有サイト「YouTube」でも配信しています。
むさしのFM 78.2MHz
「おはよう! 三鷹市です」放送時間／月～金曜日 10:20～10:25
「三鷹くちこみテレフォン」放送時間／木曜日 9:45～9:55
人口と世帯 平成31年1月1日現在 ()内は前月との増減
住民登録者数:187,199人(113人減) 男:91,624人(58人減)／女:95,575人(55人減)
世帯:93,665世帯(79世帯減)

アニメーション古今東西(1面参照)同時開催

特別ワークショップ 「セル画を塗ってみよう！」

問三鷹の森ジブリ美術館
ごあんないダイヤル☎0570-055777

一昔前までアニメーション制作に使われていたセル画に色を塗るワークショップです。小さなお子さんでも、先生が優しく教えてくれるのでご安心を。セル画は持ち帰れます。

日3月2日(土)午前11時から、午後1時から、2時から、3時から、いずれも1時間程度

人4歳以上の方各回20人(保護者の同伴可)

所芸術文化センター地下1階 ￥500円(材料代)

申2月18日(月)(必着)までに代表者の必要事項(11面参照)・参加人数(1組2人まで(同伴の保護者を除く))・参加者氏名・希望する時間を「〒181-0013下連雀1-1-83三鷹の森ジブリ美術館『三鷹の森アニメフェスタ』係」へ(1組1通。申込多数の場合は抽選)
※当選者にのみ20日(水)以降に招待状を送付(電話確認不可)。



ワークショップの様子

第109回親子音楽会 「パパパパーカッション!!」

問芸術文化課☎内線2911



前回の様子

就学前のお子さんから大人まで一緒に楽しめる人気の音楽会。今回はオーケストラとパーカッションによるクラシックの演奏で、音楽や楽器の楽しさをお伝えします。来場者から選ばれたお子さんがオーケストラの指揮に挑戦できる「指揮者コーナー」もお楽しみに。出演は中島章博さん(指揮)、岡崎裕美さん・たいらいさおさん(歌と司会)。ゲストはサトボンとパパパパーカッション隊のみなさん。演奏は三鷹市管弦楽団のみなさん。

日3月10日(日)午後1時30分～3時30分(1時開場)

人630人(招待席570人(下記)、当日席60人(先着制))

所三鷹市公会堂光のホール

申2月25日(月)(必着)までに往復はがきで必要事項(11面参照)・参加者全員(5人まで)の氏名と年齢を「〒181-8555芸術文化課」へ(1組1通。申込多数の場合は市民を優先して抽選。3月1日(金)以降に結果を発送)
※当日券は午後1時から配布します。

第24回 三鷹まちづくりフォトコンテスト 「いいとこ三鷹」審査結果発表

主市、同コンテスト実行委員会
問(株)まちづくり三鷹☎40-9669

昨年1年間に市内で撮影された四季折々の自然、人々の触れ合い、まちの表情などの写真を募集し、市内外145人から378点の作品が寄せられました。厳正な審査の結果、18点の入賞作品が決定しました。
※全入賞作品・撮影場所を掲載したガイドマップは同社ホームページ
HP<https://www.mitaka.ne.jp/>からご覧いただけます。

◆入賞作品展・表彰式

入賞作品を展示し、入賞者へ表彰状、賞品、副賞を授与します。

日3月28日(水)午後1時～6時(5時から表彰式)

所三鷹産業プラザ 申当日会場へ



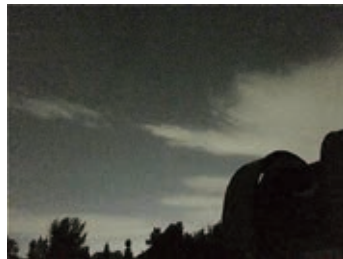
一般部門 市長賞(グランプリ)
「雪の日」柴平達弥さん



U18部門 市長賞(グランプリ)
「三角からの黄昏」井田明音さん



一般部門 金賞 「飛来」三上茂さん



U18部門 金賞
「夜の国立天文台」安田菜々さん

第5回三鷹市山本有三記念館 スケッチコンテスト受賞作品展示

問同記念館☎42-6233

応募作品61点の中から、コンテスト来場者のみなさんの投票と審査員の推薦によって選考した受賞作品を同記念館に展示します。好評開催中の企画展「三鷹と有三ーステンドグラスの洋館から」(3月3日(日)まで)と併せてご覧ください。

日2月5日(火)～3月3日午前9時30分～午後5時

休館日: 2月18・25日の月曜日、2月12日(火)・13日(水)

￥300円(入館料) 申期間中会場へ

◇受賞作品

- ・市民賞 望月志をりさん「暑き日」
- ・山本有三記念館賞
藤井まき子さん「小春日和の記念館」
- ・審査員特別賞
村山ひろ子さん「桜輝く」、田中叡子さん「木もれびの裏庭から…」



市民賞「暑き日」望月志をりさん

同記念館の催し

￥高校生以上300円(入館料) 申いずれも当日会場へ(おはなし会は先着制)

第8回おはなし会『おおきなかぶ』『牛方とやまんば』ほか

話し手は、おはなしグループ「おはなしあずきの会」のみなさんです。

日2月9日(土)午後2時～2時30分

人小学校低学年以下のお子さん15人程度(未就学児は保護者同伴)

第4回アフタヌーン・ミニコンサート

演奏は、みたかジュニア・オーケストラのみなさんです。

日2月17日(日)午後3時～3時30分

2月14日
から

太宰治文学サロン新企画展示 「太宰治と今官一」

所問同サロン☎26-9150

太宰治と同年・同郷で、絶大な信頼を得ていた直木賞作家・今官一。昭和17(1942)年に太宰の勧めで上連雀山中南(現在の上連雀9丁目)に移り住み、昭和40(1965)年までを三鷹で過ごしました。昭和23(1948)年6月13日に太宰が玉川上水に入水した後、生誕日に営まれた「桜桃忌」の命名者が今であることは広く知られています。

本展では、唯一無二の同郷作家である太宰と今が、三鷹の地で切磋琢磨の功を積み、虚飾なき互いの文学を高め合ったその交流に触れるとともに、太宰の死後、今が発表したエッセーなどから、太宰文学の正当な評価を求めるべく一貫した姿勢と三鷹ゆかりの作家としての一面を紹介します。

日2月14日(水)～6月23日(日)午前10時～午後5時30分

休館日: 月曜日(休日の場合は開館し、その翌日と翌々日が休館)

申期間中会場へ



三鷹時代の今官一
提供: 弘前市立郷土文学館